



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

2023-2024 年度

会報

会員増強、親睦



2024. 04. 17 第1493回 例会 No. 36-29 2024. 04. 24 発行

【司会】 SAA・親睦委員会 菊池 敏

◎開会点鐘 会長 福岡 均

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 福岡 均

多摩信用金庫 多摩センター支店

支店長 河野 洋之 様

岡山西南ロータリークラブ 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 福岡 均

4月11日、
IMに参加された方お疲れさまでした。

4月12日、
ポールハリス晚餐会に、ローターアクト天野さんと森本さんと私の3人で参加させていただきました。

4月24日、
再度、今後このクラブをどうするか?、についてクラブ協議会を開催いたします参加宜しくお願い致します。
米山奨学生のカウンセラーということで初野会員に委嘱状が来ておりますのでお渡しいたします。

◎幹事報告 幹事 三田 みよ子

配布物・会報 第1491回

回覧物・ハイライトよねやま 4月号

※他クラブ例会変更は事務局までお問い合わせ下さい。

◎次年度会務報告 会長エレクト カウンセラー 初野有人



4月14日先ほど委嘱状をいただきましたが、谷口 ナタリア アイカ 米山奨学生のカウンセラー説明会を受けてまいりました。当クラブ米山奨学生について少々説明させていただきます。

お名前は谷口 ナタリア アイカさん 日系ブラジル人
お父さんは日本人 お母さんは日系ブラジル人
一度日本に留学しブラジルに帰られた後、都立大学博士号を取得のため日本に来てレベルアップの勉強をされている現状です。

とても素敵な女性で日本語は完璧ですし、文字も全て書くことができますので皆様宜しくお願い致します。

今回の説明会で、前年度前々年度ハラスメントの問題で心に傷ついた奨学生が多く外国の方でも、日本の方でもそうですがハラスメントについて厳しく勉強させていただきました。ジョークのつもりで言っていることが外国の方には気にさわったり通じないことがあります。何かあった時にはその場で解決していくことが大切だということを言われました。宜しくお願い致します。

◎各委員会報告

◎出席報告 出席奨励委員会 大槻 一夫

会員総数 19名 出席義務免除者 5名

出席者数 出席義務者 8名 免除者 3名

計 11名 出席率 11/19 68.75%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 馬場 賢太郎

福岡 均 河野支店長 卓話宜しく申し上げます

三田 みよ子 お客様ようこそ 河野支店長卓話宜しく申し上げます

初野 有人 河野さん ようこそ

足立潤三郎 河野多摩センター支店長 卓話よろしく申し上げます

守田 亨 多摩信用金庫河野支店長 ようこそお越し下さいました 卓話楽しみです
椎原さん 会いたかったです!!

大槻 一夫 河野支店長 宜しくお願いいたします

菊池 敏 お客様 ようこそ

杉山 真一 河野支店長 卓話宜しく申し上げます

伊澤ケイ子 河野支店長様 卓話よろしくお願いいたします

馬場賢太郎 河野様ようこそお越し下さいました

本日の合計 ￥14,000円 (合計519,400円)

例会場 チャイニーズレストラン桃里 例会日 水曜日 12:30～ 月最終例会 18:30～

事務局 〒206-0033

多摩市落合1-5-1 グリムコートビル606

TEL 042-372-6463 FAX 042-372-6491 Eメール tokyotamagrc@gmail.com

会長 福岡 均 幹事 三田 みよ子

会報・記録委員長 大槻 一夫

委員 菊池 敏 ・伊澤 ケイ子・足立 潤三郎・森本 由美

HP: <https://www.tama-green.jp/>

【 卓 話 】

◎卓話者紹介 プログラム副委員長 足立潤三郎

◎卓話

多摩信用金庫 多摩センター支店

河野 洋之 支店長

自己紹介

子供の頃から歴史好き
大学では文学部史学科で学び
平成6年多摩中央信用金庫
に入庫 学生時代は金融とは
畑違いの学問に没頭入庫後
は金融経済について猛勉強、
国分寺支店をはじめとして8
店舗営業店勤務駅周辺の概
観に感銘を受ける



「多摩地域の経済状況について」、はじめに多摩の実力を経済規模の観点から見てみます。仮に多摩「県」というものが存在していたのなら全国都道府県と比較してみますと、人口数では上から10番目で静岡県を上回ります。民営事業所数についても11番目ですので、上位に位置していることがわかります。多摩地域の人口はというと、すでに人口減少が見られるエリアもありますが、多摩市については0～3%の増加であり、また高齢化率は30%未満のエリアとなっていることがわかります。さらに補足しますと、多摩センター駅周辺の高齢化率はいくとも18%～25%であり、一方ニュータウン団地エリアになりますと40%、と地域別に特色があります。多摩地域の事業所数の変化については、2016年から5年間で約2700所減少しています。業種的には、飲食業や小売業が大きく減少しています。一方豊富な住宅需要を背景に、自らの土地建物を貸し出す不動産賃貸業が増加しています。また保育所などの子育て支援を行う事業所が大幅に増加していることが特徴です。事業所の減少は、中小企業の経営者の高齢化や後継者不在等が関係しており、アンケート調査によると、多くの企業が事業承継を検討し始める時期でもある60歳代でも「まだ考えていない」と回答した企業が33%にのぼるという結果となっています。

多摩地域には「人口424万人という豊かなマーケット」、「高い技術力を誇る先端的中小企業の集積」「数多くの大学や大手企業の研究機関の集積」といった3つの要素が揃っています。これらの相互作用や相乗効果により、地域の魅力がさらに高まり、域内の安定的な人口増加にも寄与してきたと考えられます。



しかしながら、中小企業の現況では、事業承継の問題をはじめ、事業面においても物価高に起因した仕入れ価額の上昇分を販売価額に転嫁し切れていない状況がある等依然として収益環境は厳しい状況にあります。また経済活動の正常化の動きと共に人件費の上昇や人手不足感はさらに強まることが予想されます。

アフターコロナ、DX化、SDGs, 最近ではGX（グリーン・トランスフォーメーション）に取り組む企業も増えていま

す。これら中小企業の経営課題に対し、当金庫では人材に関する課題解決、本業支援に関する課題解決、事業承継や創業支援に関する課題解決に全力でサポートしてまいります。また多様なネットワークを活用した産学官金連携による新たな価値の創出にもとりくんでいます。

ご清聴、誠にありがとうございました、



◎お礼と閉会点鐘

会長 福岡 均

(今週の担当 足立 潤三郎)